令和2年度市老連地区会員数

地区名	クラブ数	会員数
豊科地区	6	474
穂高地区	18	1,273
三郷地区	8	814
堀金地区	3	189
明科地区	6	466
合　計	41	3,216

2012年 10月15日 創刊

発　行　所
安曇野市老人クラブ連合会
安曇野市社会福祉協議会内
〒399-8205 安曇野市豊科4160-1
TEL 0263-72-1871
発行者　藤　岡　嘉
印　刷　㈱綜合印刷

第16号　2020年（令和2年）8月6日 発行

市老連会長二期目の就任を迎えて

会長
藤岡　嘉

安曇野市老人クラブ連合会の会長を仰せつかって二期目を迎えます。今日、新型コロナ感染症で新しい生活様式の連続です。新型コロナ感染対策は、災害対策と共通する面が多いとマスコミにも報道されています。

世の中は、まさにコロナ禍の真最中であり、「命」の大切さを中心に生きることであり、生活、健康など社会のあり方、政治も経済も変わらなければいけないと専門家の論客は語ります。

本当ならば東京オリンピックを前にして、お祭り騒ぎのはずが…。誰が、こんな事態を予想したか？それにしても今年の梅雨期の水害は地球温暖化による自然の猛威と捉えながら想定しなくてはならない。科学の力を過信することなく、一日も早く安定した正常な日々を取り戻したい。

さて、安曇野に於ける私達高齢者の日常生活はどうだったでしょう。「自粛」「三密」「クラスター」等、都会の生活報道は異常といわざるを得ない状況にある。私達の生活空間は、恵まれた環境であり、改めて、その素晴らしさに感謝する次第です。私達の日常の居場所は、極めて健康的で新鮮な空気に包まれ、そよぐ風の中の美しい緑、歌の文句ではないけれど、「見ろよ青い空、白い雲、そのうち何とかなるだろう」と言う心境です。

高齢化社会では、ガンや認知症の問題もますます重要ですが、生命科学の研究開発は、新型コロナの脅威に直面して、国家の安全保障にも直結していると思います。コロナショックで、保健所の存在が問題を提議しています。又、私達、老人クラブの存在も、健康で明るい組織社会のあるべき姿として、大切に守り絆を強めて行きましょう。

再任された藤岡会長（中央）の挨拶と新役員の皆さん

「あづみ野の風」第16号発行に寄せて

安曇野市市長
宮澤 宗弘

「あづみ野の風」第16号の発行を心よりお祝い申し上げます。また、日頃より、市政とりわけ高齢者福祉にご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、平成29年に市の高齢化率が30％を越え、現在も上昇する中で、市では「健康長寿のまちづくり」を重点施策の一つに掲げ、様々な取り組みを進めております。市民の皆様一人ひとりが日々生きる喜びを感じ、住み慣れた地域で健康に生活できる活力ある地域社会の実現に向けて、引き続き尽力して参ります。

今なお世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症ですが、日本においても本年4月に緊急事態宣言が発令されるなど、まん延防止のために最大限の警戒をするよう呼びかけられました。一度は落ち着いたものの再び感染者は増加しており、決して感染防止の取り組みを緩めてはならないと強い危機感を抱いております。

皆様におかれましても、引き続き、手洗いやマスクの着用の徹底、密集・密閉・密接の３つの密を避けるなどの基本的な感染症対策を今後も継続し、日常生活の中で「新しい生活様式」をお願い致します。

市としましては、この難局を乗り切るため、緊急経済支援対策を実施しております。長丁場と見込まれる新型コロナウイルス感染症拡大の防止に最大限配慮しつつ、冷え込んだ地域経済の再生を図るとともに、市民の皆様の生活を下支えしてまいります。

５月に開催を予定されていた「安曇野市老人クラブ連合会第４回作品展」も、感染拡大防止のために中止となりました。会員の皆様の日々の活動の成果である作品発表の場が失われてしまったことは誠に残念でありますが、今は雌伏の時と捉え、皆様には今後とも豊富な経験や能力を活かして、元気ではつらつと活躍していただくことで、地域の活力づくりにご協力いただければ幸いです。

結びとなりますが、安曇野市老人クラブ連合会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。

第十五回 市老人クラブ連合会総会
（縮小・前倒し開催）

例年に準じ年初から四月十八日（土）豊科ふれあいホールを会場で開催予定していたが、新型コロナウイルスの感染が次第に拡大し、一時期までは来賓の臨席なしとし、出席人数も縮小し委任状提出を以って実施できると判断したが、四月七日に緊急事態宣言が発出され自粛要請が厳しくなりました。

本年度は役員改選であったため、急遽四月十日午前の年度最終の現役員会および当日午後予定の新役員会に於いて、それぞれ前倒しで総会議事を簡潔に進め最終的には書面による決議の形態をとりました。止むを得ない事態であったが異例の総会となった次第で会員の皆様にはご諒承を頂けますように報告致します。

（澤柳　伸）

市老ク連 藤岡会長再任

安曇野市老人クラブ連合会は10日、豊科身体障害者会館で役員会を開き、任期満了に伴う役員改選と、令和2年度の事業計画を決めた。当初は18日に総会を開いて決定する予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて中止とし、役員会をもって決議した。

役員改選では、昨年度まで1期2年間、会長を務めた三郷支部長の藤岡嘉さん（85）＝三郷明盛＝を再任した。2期目になる藤岡会長はあいさつで「皆さんの力を借りて大役を務めたい」と述べた。

本年度の年間計画では、総会に加え、5月13〜26日の市役所ロビー作品展を新型コロナの影響で中止とした。（長尾浩道）

令和2年4月11日付の市民タイムスの報道記事

第四回市役所ロビー作品展
（自粛要請延長により中止）

五月十三日から二十六日の会期で、昨年の作品展のアンケートの人気得票順から六十二点が選ばれ出品依頼準備を進めていたが、緊急事態宣言が五月六日まで延長され、以後の状況も不確実との判断により、中止することになりました。

（澤柳　伸）

令和二年度 役員（理事・監事）顧問

役職	氏名	支部
会長	藤岡　嘉	（三郷）
筆頭副会長・総務 会報部長	澤柳　伸	（穂高）
副会長 文化部長	上條　強	（豊科）
副会長 体育部長	下里博義	（明科）
副会長 会計	宮島千里	（堀金）
副会長 女性部長	勝山孝子	（豊科）
理事 文化部	堀金敏雄	（豊科）
文化部	前田克三	（穂高）
体育部	山本古壽	（穂高）
文化部	丸山洋子	（穂高）
体育部	萩原昭平	（三郷）
女性部	藤岡忠江	（三郷）
会報部	丸山宏充	（堀金）
女性部	上川小百合	（堀金）
体育部	遠藤重人	（明科）
監事	中山　隆	（穂高）
	平林幸男	（豊科）
顧問	山田高久	（豊科）
	若宮昭三	（穂高）

令和2年度安曇野市老人クラブ連合会一般会計予算書

【収　入】　※単位＝円

款　項　目	本年度予算額	備　考
1 会員会費	804,000	250円×3,216人
2 助成金	5,174,000	
1 市助成金	4,427,000	
1.単位クラブ活動交付金	1,714,000	単位クラブ助成
2.会員活動交付金	1,608,000	500円×3,216人
3.老人クラブ連合会助成金	455,000	本部事業
4.特別活動事業補助金	650,000	作品展・芸能大会
2 社協助成金	747,000	共同募金助成金
3 アルプス花街道事業	1,600,000	花いっぱい活動
4 雑収入	18,883	預金利子他
5 繰越金	242,117	令和元年度からの繰越金
計	7,839,000	

【支　出】

款　項　目	本年度予算額	備　考
1 会議費	245,000	
1.総会費	25,000	4/18 総会開催
2.役員費	210,000	
3.監査会費	10,000	4/1 会計監査
2 事務費	108,000	
1.消耗品費	30,000	
2.印刷製本費	36,000	印刷代月3,000円×12ヵ月分
3.通信運搬費	42,000	切手、葉書、封筒
3 事業費	4,230,000	
1 市老連事業費	3,230,000	
1.研修費	90,000	中信ブロック研修会、関ブロ研修会
2.県大会参加費	130,000	10/21 塩尻市レザンホール
3.金婚慶祝費	100,000	
4.表彰費	30,000	
5.スポーツ大会費	80,000	マレットゴルフ大会、生涯スポーツ大会
6.県老連負担金	280,000	87円×3,216人
7.会員以外の参加促進費	70,000	
8.広報発行費	200,000	会報年2回発行
9.特別事業費	650,000	豊科公民館作品展・芸能大会
10.アルプス花街道事業	1,600,000	
2 支部事業費	1,000,000	
4 諸支出金	40,000	
1.交際費	20,000	
2.慶弔費	10,000	
3.雑費	10,000	
5 助成費（単位クラブ活動補助）	3,216,000	会員一人当たり1,000円目安
計	7,839,000	

令和2年度安曇野市老人クラブ連合会一般会計予算額
収入金額 7,839,000円　支出金額 7,839,000円　差引金額 0円

令和２年度　安曇野市老人クラブ連合会　事業計画

月　日	内　　容	場　　所
4月10日	市老連役員会	豊科身体障害者会館
4月18日	市老連総会（新型コロナ対策で中止）	豊科ふれあいホール
5月13日〜26日	市役所ロビー作品展（新型コロナ対策で中止）	市本庁舎 1階東ロビーにて
5月	百歳賀寿贈呈者調査（県事業）	
6月18日	市町村老人クラブブロック研修会県事業（新型コロナ対策で9月〜1月に延期）	白馬村多目的ホールにて
6月	関東甲信越静ブロック老人クラブリーダー研修会（県事業）	
6月	金婚・ダイヤモンド婚該当者調査（県事業）	
7月9日	女性指導者研修会（県事業）	長野県安曇野庁舎
8月	会報「あづみ野の風」第16号発行	
8月	生涯スポーツ交流大会実行委員会（県行政事業）	松本合同庁舎
8月20日	市老連　花いっぱい運動コンクール審査	市内一円
9月	市老連作品展＆芸能大会 第1回実行委員会	豊科身体障害者会館
9月26日	安曇野市社会福祉大会	豊科公民館
9月	生涯スポーツ交流大会（県行政事業）	信州スカイパーク
10月	交通安全教室（市行政事業）	穂高自動車学校
10月	市老連　マレット大会	
10月21日	第60回県老人クラブ大会（県事業）	塩尻市レザンホール
11月	市老連作品展&芸能大会実行委員会	豊科身体障害者会館
11月19日	市老連　作品展　事前準備	豊科公民館
11月20日〜23日	市老連　作品展	豊科公民館
11月22日	市老連　芸能大会	豊科公民館
6月〜11月	楽々大極拳教室（市事業）	各支部
12月	市町村老連会長・事務局長会議	場所未定
2月	会報「あづみ野の風」第17号発行	

※上記のほか、市老連「役員会」「正副会長会」「文化部会」「会報部会」「体育部会」を随時開催予定　※県老連・理事会、女性委員会など出席予定。

新年度に向けて各部長が抱負を語る

活性化に寄与する会報

会報部長
澤柳 伸

この度、総務・会報部を担当する事になりました。文化部を三年受け持ち市老連の事もあらかた分かったつもりですが、総務・会報部に関しては先輩諸氏の事を思い返し、また、各副会長のご協力を戴いて対応したい所存であります。会報紙については、活動報告等の適切な情報伝達と支部を始め会員各位との良いコミュニケーションを図り、近年の急激な会員減少に鑑み、会の活性化に寄与したいと考えております。折しも新型コロナ禍と重なる時期に遭い、計画事業の中止・変更が生じ会報づくりにも影響が予想されます。ウィズコロナの傍ら、まもなく発刊から十年目が近づきます。

会報の編集内容も少しずつ見直しされる事と推測します。寄稿等に際しては、支部を始め会員各位の積極的なご支援をお願いしながら、役割を充分に果たしたいと願っております。今後とも会員の皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。

自然との共存に想う

文化部長
上條 強

昨年二クラブが脱会して六クラブに落ち込んだ。これ以上の脱会は豊科老人会の名誉に掛けても存続して行くと、役員全員で頑張ろうと取組んでおります。

人が集まるには、趣味を活かして、また、食事会や飲み会等良く聞かれる話です。最近、特に市の西部からですが、猿・熊・イノシシの被害が多く困った事です。最近は、西部から東部にも被害が広がっております。観光開発で里山から奥山に動物達の住家が失われ食べ物も無くなり、そのため人里に現れる様になったと私は思いますが、開発も大事な事業でしょう。自然豊かな安曇野から湧水工場が何ヶ所も出来ています。

にせ「たんぽぽ」始め、にせ「アカシヤ」等、外国から植物がどんどん入り込んで来ています。自然との共存は極めて難しい事と想います。地球温暖化から取組む事が重要です。今我々がとやかく言う事ではないと想う人もいると思う。しかし、このまま次の時代に引継いで良いでしょうか。

豊科支部老人会の活動内容には勉強の機会はないが、地域作りのためには必要な事と私は思っております。

今の想い

体育部長
下里 博義

巡り合わせだろうか、市区長会に引き続き市老連の副会長を仰せつかったが力不足が気掛りです。

現在は、新型コロナウイルス禍により自粛の日々が続いておりますが、最近妙に先輩の教えの一つを思い出すことが多くあります。

それは、「歳を重ねてくると『キョウヨウ→今日、用事があること』と『キョウイク→今日行く所があること』が大切になってくる」であります。

この言葉を噛み締めながら、可能な限り地区のマレットゴルフ例会に参加したり、微力ながら長寿会に関わる仕事をしたりと長寿会に「活動の場」を、求めていきたいと思う今日此頃であります。

務めは臨機応変に対応

会 計
宮島 千里

この度、会計担当になりましたが、市老連の役員は初めての経験ですので、今年は新型コロナウイルスの関係で、すでに多くの行事や会合が中止になってしまっています。例年通りには行かない部分も多々ありますが、臨機応変に対応できればと思っております。

こんな時だからこそ、「とりあえず」で行なうのでなく「今だからこそできること」を見つけながら、今後の市老連のためになる活動をしていけたらと考えております。

会員の皆様の大事なお金を預かる仕事ですので、気を引き締め、多くの皆さんのご指導・ご協力をいただきながら務めて参りたいと思います。

手芸講習会について

女性部長
勝山 孝子

新年度を迎え皆が新しい気持ちで各事業に取り組もうとしている矢先、新型ウイルスが世の中にはびこり、準備段階にあった色々な行事や催事がすべて中止か、延期になってしまいました。県老連主催の女性研修会は、今年は六月に安曇野市にて開催予定でしたが、十一月に白馬村での開催に変更となりました。

例年では女性研修会の折に勉強していた手芸講習が十一月にずれ込む事で、老人作品展に出品予定をされていた皆様にはとても間に合わない事になってしまいます。そこで、苦肉の策として九月二日に長野での女性委員会の折、手芸講習を受けしっかり勉強して参りますので、九月中頃に各支部女性部長さんに伝達講習をします。それを各支部にて持ち帰り伝達講習をしていただく計画を立てました。そこで十一月二十日から予定している安曇野市老人クラブ作品展への出展が可能になると考えております。

手芸が大好きな皆様には、少しお待たせしますが、今回はこの日程で進めさせていきます。是非とも伝達講習の際は、それぞれの支部で単会で講習を受けていただき、立派な作品を市老連作品展に出品していただけます様お願い致します。

投句

ゆるやかに帯締め直し遠花火
天国が透けて見えたる鰯雲
豊科・熊倉春日会　小川 初子

安曇野は出湯湧水稲穂波
遠くなる昭和歌謡と蝉の声
三郷ひびき句会　上條 強

放したる子鹿の行方月細し
里山の太りゆく夏空青し
採り掘り地中新じゃが笑窪あり
三郷中萱長寿会　小林 清次

夢の中菩薩の一喝夏の風邪
掛香や顔で笑って腹で泣く
古希過ぎの恋はサイダー紙飛行機
三郷ひびき句会　大澤 文子

ようやく笑顔が

穂高・矢原鶴齢会　小岩　宏

新型コロナウイルスにより、スポーツ・娯楽に至るすべての活動が、停止または自粛を求められました。私ども「鶴齢会」としても、新年度の活動に入ろうとした矢先だっただけに休止は厳しいものがあります。社会的距離を守りながらできる活動といえば「花いっぱい運動」に参加する事であるとして、早速準備に入りました。外で仲間と意見を交換しながら、また体を動かすことの喜びを改めて感じた次第です。その後、条件付きでマレットゴルフ場の使用許可も出されまして、練習を開始。ようやく笑顔が戻ってきました。

一方、活動に参加できない会員も多いことから、会報を隔月ですが発行し、活動状況と併せて支部の動きを知らせています。今後も会員と共に、この新型コロナウイルスが、一日も早く収束することを祈るほかありません。

花壇の手入れ作業に励む会員の皆さん

最近の活動報告について

明科・潮北長寿会　矢澤久雄

今年度、会長に選出されましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、計画の事業が行えないため、会員相互の親睦を図れなく残念です。

三月の日帰り旅行の中止、総会は書面議決となり、懇親会も出来ませでした。

今年度、最初の事業は、明北小学校の一年生との花壇作りはコロナウイルス禍のため七月十三日に役員と先生で行いました。

例年は、一年生と一緒に植え付けし、終了後に教室でお茶を飲みながら懇談した後に、音楽会で合唱した歌をお聞きし、入学して僅かであるのに見事な合唱で、感激して聞き入りましたが、今回は出来ませんでした。

早く、本来の活動が出来る事を待ち望んでいます。

昨年の植栽後の一年生との記念写真

健康・友愛・奉仕を大切に

堀金・小田多井にこにこ会　一志和恵

今日の恵まれた文明社会に、全く予期しない、コロナウイルスの出現により、住民の生命と生活経済に、大きな課題がのしかかって来ました。

私達老人クラブ活動もこれに、初体験の試練に立つことになりました。行政からの指導枠の中で、いかに自分達の目標を成し遂げるかが求められています、私達にこにこ会も市老連と同じく、会員の健康、友愛・奉仕の三目標に変わりはありませんが、その中でコドモ育成会との友好交流の花壇作業が、会のメイン事業になっています。

此れによって会員は地域との連携、会員同士の友愛・信頼関係が成り立っています。新年度もコロナウイルスに負けないよう常に先輩と地域に感謝の気持ちで、思い残すことのない活動に前進したいと念願しております。

コドモ育成会との友好交流の花壇作業

雑感

豊科アルプス銀嶺会　中村元子

今日も「カッコウ」が鳴いている。本当に長閑で癒される。

アルプス銀嶺会には、楽々ヨガ・ボッチャ・マレットゴルフ・囲碁・コーラス・カラオケ・紬の会（針を使い帽子やら、様々な作品を作る）等々バラエティにとんだ集いがあり、私たちの生きがいになっている。

なんの巡り合わせか?私たち世代は、政治・経済他、全てが効率化優先の時代になり、「おいてけぼり」をくわされている感じがしてならない・カタカナ語があふれ、スマホ使用者が優先されている。おのずと高齢者は、割をくっている気がする。

市老連作品展に出品された工芸作品

しかし、皆が集まり、不平・不満にはじまり、いろいろおしゃべりすると、スカーッとした青空の気分になり、明日の活動への原動力がわいてくる。まさにそれが、「一人じゃないよ」を実感する時である。それ故、もっとたくさんの方々に入会していただき、皆で助け合って、仲良く前向きに進んでいけたらいいな！と思うこの頃なのです。

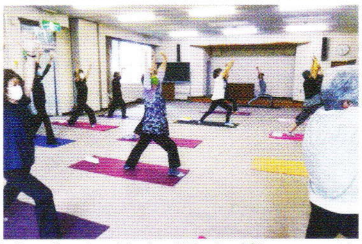
（令和二年六月）

誇り持って自由な活動を

三郷　ひといちばシニアクラブ　西澤國男

ひといちばシニアクラブの現況は、会員が百十九名で男性44％、女性が56％となっています。活動は、全員対象で行なうもの（参加自由）の他、同好会的なものが12サークルあり、各自の好みに応じて自由に活動しています。例えば、「健康マージャン」「地域学習会」「里山歩き」等です。全員では、研修旅行、地区の行事参加・ボランティア活動等です。

例年、総会や懇親会を行っていますが、今年度、猛威をふるっている新型コロナウイルスの影響で、特に楽しみにしていた懇親会は延期せざるを得ません。しかし、各サークルの活動はコロナ対策をしっかり取り開催しておりますが、コロナ感染がまだ拡大している状況で先のことが見通し出来ませんので判断に迷い、頭を悩ませる今日この頃でございます。



健康体操をするクラブ会員の皆さん

編集後記

▼第十六号会報は新型コロナの自粛により、予定事業を中止にして、縮小しての実施のため、4頁予定の掲載内容が不足し補充の原稿を各支部の単位クラブに活動状況を寄稿して発行できました。今後もウィズコロナが想定され編集にはより工夫が求められでしょう。

▼一方、世の中は急激に変わってきて、テレビ放送でもリモートワークやオンライン等が普及してきました。高齢の私等にとっては少し位パソコンを嗜んでも日進月歩のスマホには乗り遅れ夫婦で持ち合わすガラケイではＱＲコードも読み取れず、まして新しく登場した厚生労働省の新型コロナ接触確認アプリには残念ながら対応できません。

▼これから益々進むデジタル化に気後れしたところで今更追いつけないので、余り気に留めず先ずは我身の心身の健康管理にしっかり取り組みましょう。

会報部長　澤柳　伸